

カーボンニュートラルを目指す 環境経営と 木材利用への期待

部会長 **横山 健児**

よこやまけんじ

株式会社NTTアーバンソリューションズ総合研究所
街づくりデザイン部 上席研究員



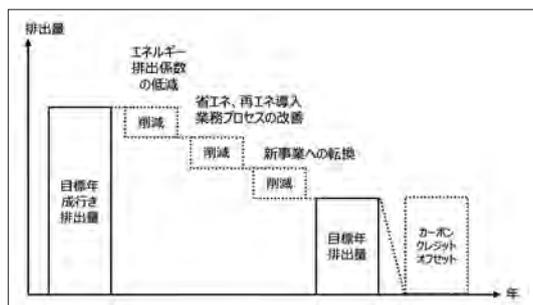
人権問題、鉱物資源などの地政学的リスクの増大、SDGs、カーボンニュートラル（CN）に対する取り組み要請を受け、サステナビリティ経営は世界的に必須の状況にある。サステナビリティ経営とは、社会や環境への価値提供は経済的なリターンと矛盾しないという考えに基づいて「持続的な成長と中期的な企業価値向上」を実現する経営手法である。当研究部会では、サステナビリティ経営の指標となるESG（環境、社会、ガバナンス）のなかで環境経営に焦点を当てて動向調査を実施した。また、CO₂削減に貢献する木材利用についても調査したので報告する。

図表1にサステナビリティ経営の指標となるESGのうち、開示すべき環境関連データの例を示す。環境分野で重要な項目としては、ISO 14001に準拠したマネジメントの実施、GHG排出量の削減と再エネの導入、廃棄物の抑制とリサイクル、生物多様性に関する取り組み等があげられる。企業にはこれら項目をすべて管理し適切に処理するだけでなく、速やかな情報開示が求められる。

この環境経営の中で、2050年CN達成は特に重要で、3年以内には非上場企業も含めて義務化されると予想される。図表2には、企業がCNを達成するためのプロセスを示す。CO₂を削減する手法としては、低CO₂排出係数エネルギーの購入、省エネ機器と再エネの導入および業務プロセスの改善が考えられる。ただし、最終的に削減できないCO₂は、カーボンクレジットでオフセットする必要がある。よって、企業には2050年までに、各種設備の導入、業務プロセスの見直し、カーボンクレジットの購入準備が求められる。

マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001準拠 環境法令違反、罰金
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出目標・実績（スコープ1,2,3） エネルギー使用目標・実績 再エネ導入目標・実績 GHGオフセット量 ライフサイクルCO₂排出量
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量 リサイクル率・率 有害物質排出量 水使用量
汚染	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質排出量
生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 認証品調達率 生物多様性リスク評価

図表1 開示すべき環境関連データの例



図表2 カーボンニュートラルを達成するためのプロセス

次に、関連する電源開発、企業活動、カーボンクレジットに関する動向を説明する。まず電源開発では、加速性とアップサイクルが重要と言われる。加速性としては、2050年に向けて再エネ導入と電力ネットワークの安定化を加速する。一方、アップサイクルとは、本来廃棄されるものに新たな価値をつけて再生させる手法であり、石炭、石油、廃棄物等をより有用なものに変化させることが、CNと経済成長を両立させるカギだと考えられる。次に、メーカー企業の取り組み事例である。企業は企画、開発から生産、販売まで一貫して環境問題に取り組んでいる。例えば、社内にグリーンプロダクト/ファクトリ認定制度を構築し、環境のノウハウを調達先やお客さまに提供するグリーンサプライヤー/マーケティング活動を行っている。さらに、他社と協力したプラットフォーム活動にも力を入れている。最後に、カーボンクレジットによるオフセットだが、2026年度から本格的に排出量取引制度が開始される。ここで重要なのは、グリーンウォッシュ（環境配慮を装う）企業として扱われないように信頼できるクレジットを購入するポリシーを持つことである。

最後の話題として、木材利用によるCO₂削減について述べる。木材利用は、バイオマス発電のような化石燃料の代替に加えて、CO₂の貯蔵およびエネルギー集約的素材の代替の面で貢献できるといわれる。森林は、若い木ほどCO₂吸収量が多くなるため、森林整備を進め、木材を多く使用し、新たに植林することが重要になる。次に重要なのが、CO₂を貯蔵するためにできるだけ長く使用することである。木質建築が実現できる技術はすでに確立されており、後は市場次第である。このため、CO₂削減を目的に、環境経営と関連づけて官民協力による市場拡大

が必要要素だと考えられる。

CN達成の2050年は間近に迫っている。環境経営に力を入れて「持続的な成長と中期的な企業価値向上」を達成するため、業界を超えて今すぐ行動することが必要である。◀